

新法下での合併支援は

県独自の支援策を検討



桜の郷なみ台コモンガーデン

議員(自民) 合併新法下での第一号となるのである

議員(自民) 合併新法下での第一号となるのである

え、今後どのような支援を行うか市町村合併推進審議会の意見を踏まえながら検討する。
議員 「桜の郷」をより魅力あるまちとするため、高齢社会に対応できるとともに、子どもにとっても住みやすい三世代がずっと住み続けられるまちづくりが大切。今後のまちづくりをどう進めていくのか。
保健福祉部長 健康スポーツ機能や生きがいづくり機能等を有する施設の誘致に加え、コモンガーデンや散策路等の整備を推進する。また、コミュニティセンターの利用促進を図る。
(ほかに、障害者に対する就労支援の強化、病診連携による地域医療の充実なども質問)

児童生徒の安全対策は

不審者情報をホームページから提供



議員(自民) 各種の政策を打ち出すに当たっては、議決の段階で議論する

議員(自民) 各種の政策を打ち出すに当たっては、議決の段階で議論する

議員(自民) 各種の政策を打ち出すに当たっては、議決の段階で議論する
策を打ち出すに当たっては、議決の段階で議論する
のでなく、修正可能な政策
策定の段階で協議等を行
い、議会と協調して県政を
推進することが重要と考え

大切であり、県議会とより密接な協調関係を築きながら、全力で県政運営に取り組んでいく。
議員 児童が下校途中で誘拐され殺害されるという悲惨な事件が連続して発生しているが、児童生徒の登下校時の安全確保策は、
教育長 各市町村や学校が行っている通学路の安全確保の取組事例を取りまとめるとともに、市町村教育委員会が把握した不審者情報のすべてを県教育委員会が収集し、各学校はもちろんだら、県民にもホームページから提供していきたい。
(ほかに、農業産出額全国第二位奪還に向けた戦略、電子申請・届出システムの利活用の促進なども質問)

鹿島港外港公共埠頭の整備は

整備促進を国に要望



鹿島港

議員(自民) 商業港としての役割をも増しつつある鹿島港が首都圏における物流拠点としての機能を果たすには外港公共埠頭の整備が必要である。整備についての基本的な考え方は、
土木部長 大型船舶への対応等の面から大変重要であり、整備の必要性を十分認識して国へ整備促進を要望している。現在、港内の静穏度確保のための防波堤整備を優先しており、また、開口部の締め切りが早期に行えるよう、国と協議・調整を進めている。
議員 廃棄物の不法投棄

Gメン」を設置し、投棄行為の即時停止措置や徹底的な調査、違反者の公表を行うことを検討できないか。
生活環境部長 今年度、併任警察官を集中配置し、県職員とともに立入検査等ができる体制を整えた。今後、より徹底かつ迅速な調査を行うつて法に基づく命令を出すとともに、その対象者を公表する仕組みも検討していきたい。
(ほかに、カシマサッカースタジアム周辺の地域構想、教育問題なども質問)

県有知的財産の取得推進は

組織のあり方を含め検討



県の特許を活用した商品例(味をマイルドにする特徴を持つ乳酸菌)

議員(自民) 県の試験研究機関は、科学技術集積を生かし、中小企業の二

ズに合った特許を取得し、低額での利用に取り組むべきであり、そのための組織として「みらい研究開発機構」又は「いばらき発明機構」を設置してはどうか。
企画部長 現在、県立試験研究機関の機能強化の検討を行っており、研究開発のあり方とともに、知的財産権の取得とその有効活用についても、提案の組織体制を含め検討していく。
議員 茨城の先人たちの成し遂げた偉業を知ること、子どもたちが大志を抱き、輝かしい茨城をつくる人間力を身につけることができるかと考える。本県の先人たちの資料をそろえた先人館を整備すべきと考えらるかどうか。
教育長 県立歴史館の常設展示施設を将来改装する際に、先人の展示スペースを設けられないか検討するとともに、当面、特別展示等による展示を検討する。
(ほかに、国民保護計画、桜山の環境整備、藤井・岩根・成沢地区農業集落排水事業なども質問)

暮らしのワンポイント

子どもの安全のために

お子さんを犯罪から守るためには、日々の生活の中で防犯への取り組みが必要です。家族で守る「我が家のルール」にしてください。
一人で遊ばない
お子さんが犯罪に巻き込まれるケースで一番多いのは一人で行くときです。できる限り一人で遊ばないよう教えてあげてください。

外出時には、必ず「行き先」を言う

外出時には、必ず、誰と、どこで、何をするか、何時ごろ帰ってくるかを言うようにさせてください。何も言わないで外出しようとするときは、必ず行き先を聞いてください。
何かあったら必ず言う
危険な目にあったら、必ず「今日こんなことがあった」と家の人に話すように、お子さんとの日ごとのコミュニケーションを大切にしてください。
何かあったら大声で助けを呼ぶ
万一、危険な目にあっても、恐怖心で声が出せない、助けを呼べないといったことも考えられます。日頃から「助けて」と大声を出す訓練をしてください。



何かあったら大声で助けを呼ぶ
万一、危険な目にあっても、恐怖心で声が出せない、助けを呼べないといったことも考えられます。日頃から「助けて」と大声を出す訓練をしてください。